

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1470801182	事業の開始年月日	平成18年1月11日
		指定年月日	平成18年1月1日
法人名	株式会社 ニチイ学館		
事業所名	ニチイケアセンター富岡東		
所在地	(〒236-0051) 神奈川県横浜市金沢区富岡東4-2-1		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
		通い定員	名
		宿泊定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	平成27年1月28日	評価結果 市町村受理日	平成27年5月11日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>建物周辺は公園などが多く、静かな環境で四季折々に変化を感じながら日々の買物や散歩に出かけ気分転換を図っていただいている。</p> <p>広い居室や、職員と一緒に調理ができるアイランドキッチンを設置している。</p> <p>医療連携体制加算を取得し、訪問看護師と連携し健康管理を行っている。</p> <p>体調を確認しながら毎身体操を行い、体力維持を図っている。</p> <p>町内会の盆踊りに参加したり、子供みこしの来所、ニチイ祭りへのお誘いなど地域との交流も行っている。近隣の保育園との交流、中学校の福祉体験学習や高校の実習の受け入れも行っている。</p>
--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区本町2丁目10番地 横浜大栄ビル8階		
訪問調査日	平成27年2月13日	評価機関 評価決定日	平成27年4月24日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>【事業所の概要】 この事業所は京浜急行の京急富岡駅から徒歩10分ほどの所にある。県道から入った細い道を進むと学校や公園が現れ、途端に緑が多くなる。事業所は慶珊寺の目の前にあり近くには障害者のサロンやロッジ風の公園施設などがある。法人は教育分野や介護分野の大手であるニチイ学館で、全国でも数多くのグループホームを手がけている。当事業所は、神奈川県で2番目のグループホームとして作られた。1階がデイサービスと訪問介護、2階がグループホームと居宅介護支援事業所となっており、総合的にサービスを提供している。</p> <p>【自然に恵まれた環境】 駅から徒歩10分という立地ではあるが、緑が残る自然豊かな小高い丘にある。向かいのお寺「慶珊寺」は凛とした静けさの中で尊厳を保っている。地域の方とは、日ごろの散歩だけでなく、七夕の笹など頂き物をするなどの関係がある。また、災害などの時は、事業所を地域の一時避難場所として使えるようにしている。隣の自然公園はロッジ風の建物があり、小さな子供連れの親子の遊ぶ姿が見られる。一段下には小学校と中学校があり、広々とした空間が広がる。</p> <p>【地域と協力した防災体制】 24年に念願の町内会加入が実現し、地域との連携が強まった。その成果として運営推進会議で話し合いを重ね、地域の消防団とつながりと持つことができた。今年度は町内会の防災訓練に管理者が参加し、煙体験や起震車体験などを行った。事業所の夜間想定火災訓練には町内会長や民生委員、地域の住民が参加し、地元の消防団が15名駆けつけてくれるなど大掛かりに行われた。消防団に施設の構造などを把握してもらい、災害時の対応について具体的な説明やアドバイスを得ることができた。地域との連携によって、夜勤者の安心にもつながっている。</p>

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	ニチイケアセンター富岡東
ユニット名	潮さい

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	玄関口やユニット内に基本理念を置き、理念をもとに働き、実現に向けて取り組んでいる。	社是をミーティング時に唱和している。法人の4つの理念は新人研修時に学習する。玄関やユニット内部に掲示し、連絡ノートの表紙に貼り、読むように指導している。	理念の成り立ちや意図しているところを職員全員が共有できるよう、理念について研修する場を作ることを期待します。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会の行事などに参加して交流が増えてきている。散歩時に、挨拶をしたり声をかけてもらっている。	町内会に加入し、盆踊りや防災訓練など地域の行事等に参加している。保育園からは毎年園児が歌や踊りを披露しに来てくれる。中学校の福祉体験や高校生の課外授業として、生徒が車いす体験やレクリエーション活動の体験に訪れている。ウクレレやオカリナなどのボランティアが来てくれる。事業所が行う「ニチイ祭り」に阿波踊りのボランティアや近隣住民の参加がある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	中学生や高校生の職場体験の受入れを行っている。また地域団体のメンバーとなり、認知症サポーター養成講座を学校・地域向けに実施した。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度開催し、意見や要望を聞き、サービスに反映できるように努めている。包括センター職員や町内会長様、民生委員の方が参加している。	町内会長、民生委員、利用者家族、地域包括支援センター職員の出席を得て2か月に1度開催している。事業内容の報告の他、外部評価についても話しあっている。委員からの提案で業者を紹介してもらい、「買い物イベント」を実施した。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	今年度より介護相談員を導入したので区役所職員との関わりが増えてきた。グループホーム連絡会の南部ブロック役員となっているため、市職員とも関係が築けた。	介護相談員の受け入れを行い、区との連携が強まった。管理者は、地域包括支援センターの依頼を受け、認知症サポーター養成講座の講師として活動している。グループホーム連絡協議会の幹事としても活動し、横浜市とも連携している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	マニュアルを閲覧可能な場所に置き、掲示物を貼り出したり研修も行っている。外側の玄関口は防犯上の理由で夜間帯のみ施錠している。	法人の身体拘束廃止のマニュアルが整備されている。11月の法人研修に参加し、業務ミーティングで他の職員にも周知した。職員が常時閲覧できるよう、マニュアルは各ユニットに置いている。鍵は夜間のみ施錠し、日中は開錠している。出かけた利用には一緒に外出するようにしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	マニュアルや掲示物を置き、ミーティングで研修を行っている。日々疑問に思うことは職員間で話し合いをしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度を利用されている方がいらっしゃるので学ぶ機会がある。また、必要に応じて制度を活用できるよう説明を行うようにしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に細かく説明を行い、不安や疑問点が解消できるよう努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	契約時に苦情対応を説明し、重要事項説明書にも当社以外の窓口を記載している。法人の顧客満足度調査により苦情や意見をいただき、改善できるよう努めている。	年に数回「家族会」を開催し、利用者家族に運営に関し変更等の説明を行う機会がある。法人では毎年「顧客満足度調査」をおこない、結果の報告がある。昨年は「外出レクリエーションが少ない」という意見があり、家族の協力を得て実現させた。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングや申し送り時などに意見を聞き、サービスに反映可能であるものは検討している。	ユニット合同で毎月行われる「業務ミーティング」で職員は提案することができる。デイサービスからの要望で畑づくりを検討し、職員の提案で花ではなく実がなるものを作ることにした。秋に芋ほりを開催し、収穫した芋はコロケやサラダとして、利用者と共に味わった。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	スキルアップのための制度を設けて、各自が目標を持ち働けるように努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修への参加や外部研修の案内を掲示して、希望者にはシフトを調整し参加出来るよう対応している。今年度は他法人グループホームへの現場研修にも参加した。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	市グループホーム連絡会に加入し、今年度はブロック役員として研修会を立案したり、他法人管理者との意見交換を行っている。区内グループホーム連絡会も今年より発足し、顔の見える関係が築けてきている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前アセスメントにて、ご本人と面談し、話を聴いている。内容をスタッフと共有し信頼関係の構築に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居時に要望や心配事等を聴き、些細なことでも相談できるような関係づくりを心がけている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	主治医の選択などを含め、対応可能なサービスが提案できるよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒に行ったり、ご本人が得意なことを職員が教わったりしながら共に過ごす時間を大切にしている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会など来所された際に家族の話聴き、意見・要望を取り入れた計画作成を心がけている。来所が困難な家族には電話で話しを聴いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族以外にも馴染みの方、習い事のお友達などに訪問してもらい、これまでの関係が途切れることがないよう努めている。	アクティビティで年賀状を作り、家族などへ送る支援を行っている。知人等の訪問は少なくなっているが、来訪時にはもてなしている。時には旧姓で呼ぶこともある。地方出身の方には方言を教えてもらったり、ご当地民謡をかけたりしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	それぞれの関係を把握し、職員が間に入り、利用者同士の交流が図れるよう声かけしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後でも相談やアドバイスができることを説明している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者志向の理念のもとに、コミュニケーションを多くとったり、行動から本人の希望や意向が把握できるよう努めている。	自宅で家族から利用者の生活歴を聞き取り、初回アセスメントを作成している。入居後は入浴や散歩などの際に、本人の思いや意向を聞くことが多い。行動や表情からくみ取ることもある。聞き取った情報はセンター方式のアセスメントツールを使って職員と共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式を活用しながら情報収集をし、今までに近い生活が維持できるよう努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	介護記録により24時間の生活リズムを知り、把握するようにしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的なモニタリングとケースカンファレンスを行い、意見を聴き介護計画を作成している	ユニットごとの日々の記録ファイルに、法人指定の個人日誌「業務日誌」と共に全員の介護計画書コピーを綴じてある。職員は常に介護計画書を意識してサービスを行っている。定期的なモニタリングを基に、ケースカンファレンスを行い、介護計画を更新している。	ケースカンファレンスだけでなく、訪問看護や医師などの医療との連携、家族の意見等を取り入れ、介護計画を更新することを期待します。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	気づきや工夫についてはその場で話し合いを行い、情報を共有し見直しを行うようにしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	法人の多機能性を活かしたトータルケアの対応が可能のため、本人や家族の要望に迅速な対応ができるよう連携を取りながら行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣住民のウクレレサークルのボランティアの方々に来所いただいている。「学校と福祉施設の連絡会」に参加し、地域資源の情報共有を行い、保育園や学校との交流を行っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族に主治医を決めてもらっている。往診医以外の通院には受診時に本人の状況を家族に報告している	入居前のかかりつけ医や専門医への受診は家族が対応している。情報は伝えてもらい、職員で共有している。協力医への受診は職員が対応する。隔週に訪問医の往診がある。訪問看護が定期的であり、「受診・健康管理ファイル」で記録を残している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回の訪問看護師来訪時に、疑問に思うことなど相談にのってもらっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には介護サマリーを作成し、病院へ訪問したり、または状況の変化に応じて電話にて情報交換を行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	主治医とご家族との三者で話し合いの場を設け、個々の対応について検討している。	「重度化した場合における対応に係る指針」を作成し、契約時に説明を行っている。医師がターミナル期と判断した場合は、家族と管理者、医師の3者で話し合いを行い、看取りに移行する。過去3件の看取りがあり、昨年も看取りを行った。	入居開始時の説明のほかに、看取りに移行する場合も同意書等を残すことを期待します。また、職員に対する「看取り」の研修等を行うことを期待します。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	入職時やミーティング等で研修を行ったり、マニュアルをいつでも閲覧できるようにしている。救命救急講習も近隣消防出張所から受けている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害マニュアルを作り、いつでも閲覧できるようになっている。消防署職員の協力のもと、消防団や近隣住民の方を含めた避難訓練を実施している。	法人の詳細な防災マニュアルがある。3月に地震を想定した災害訓練を職員のみで行った。7月に消防署5名、消防団15名、近隣住民3名と共に夜間想定火災訓練を行った。消防団との連携ができたことで、避難の仕方等のアドバイスをもらえた。事業所内には災害時の係決めの表があり、職員はそれぞれ任務を分担している。備蓄はリストで管理されており、3日分の食料や水を確認した。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーに配慮しながら声かけを工夫したり、見守りをしている	利用者の人格を尊重するため、現場での言葉遣い等は常に気にかけている。生活歴を参考に、呼びかけなども配慮している。元警察官の利用者の方が事業所内を歩いている時は「パトロールご苦労様です」と呼びかけ笑顔で対応するなど、尊厳を損ねない接し方をするよう指導している。法人では毎年「個人情報保護」に関するテストを行うなど、意識付けを行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の思いをゆとりを持って聴き、自己決定を重要視しながら支援を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事時間や日中の活動など、入居者のペースを大切にし、職員側の都合が優先されないように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	お化粧をされる方への支援を行ったり、服装の選択を自由にしているが、ちぐはぐな服装になっている場合はさりげなく促している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お一人おひとりの得意分野を活かしながら、食事の準備や後片付けを職員と一緒にしている。	当番の職員が1週間分の献立を考え全員でチェックしメニューを決めている。買い物は毎日利用者と共に近くのストアに出かけている。去年は、畑でできたサツマイモなども食卓に上った。お誕生会などイベント時は利用者の希望を聞き、出前の寿司をとることが多い。訪問日の昼食時は職員が一人で見守っていた。	食事中は誤食など最もリスクが高い時間なので、複数の職員で会話を楽しみながら見守りができることを期待します。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分摂取拒否がある場合は時間をおいたり、好みの飲み物に変更したりして無理なく摂取いただいている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの支援を行っている。週1回の訪問歯科にて観察を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンの把握に努め、適宜トイレ誘導を行い支援している。ポータブルトイレから、声かけによりトイレでの排泄が多くなった例がある。	トイレは各ユニット4か所あり、車いすで介助できる広さがある。浴室に近いトイレには2つのドアがあり、失敗しても他の利用者の目線を気にせず、すぐに浴室に行けるよう配慮されている。毎日チェック表をつけ、排泄のパターンを確認し誘導を行っている。必要があれば職員2人対応で、トイレで排泄できるよう支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	飲食物を工夫するなど便秘予防を行っているが、訪問看護師や医師と連携しながら薬で調整している方もいらっしゃる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	浴室が広いとため、職員見守りのもと入浴を実施している。失禁があった場合などはその都度実施している。	脱衣所と浴室は広く、浴槽小さめで縁が低くまたぎやすい。また、両側から介助できるよう配慮されている。1日3人くらいを目安に、利用者の状況に合わせて入浴の支援を行っている。足浴やシャワー浴、清拭に変えることもある。入りたがらない利用者には、対応する職員を変えたり、誘うタイミングを見るなどして対応している。床暖房があり、暖かく入浴できる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の希望に添い、休息時間は自由にとっていただいている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々が服用している処方薬の一覧をファイルし、いつでも確認ができるようにしている。誤薬を防ぐため服薬時には職員2名で確認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	これまでの趣味を楽しんでいただいたり、得意な役割を行っていただいている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	買い物や散歩に出かけているが、遠方への外出はできていない。	法人の方針で車を使った外出は少ないが、季節ごとに花見などの外出行事を行っている。車いすを押して行ける範囲での外食にも行っている。近隣に公園や寺社があり、環境に恵まれていることから、散歩は自然を満喫できるよう工夫している。デイサービスと共同で畑で作物を育てており、利用者の外気浴の機会となっている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	財布がないと不安な方には低額所持していただいている。近隣のバザーなどに出かけ、本人が買物したい時には自由に使えるようにしている。業者による買い物イベントを実施した。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご友人やご家族あてのはがきを書き、ポストへ投函するまで支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	室温が快適になるよう適宜温度調整し配慮している。また居室も定期的に換気を行っている。季節感のある装飾を行うよう心がけている。	1フロアで2ユニットの作りになっており、広さを意識し、あちこちのコーナーに小さな椅子を置いている。広い居間にアイランドキッチンが配置されている。季節の飾りなどがあり、居心地のよい空間づくりに配慮している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングのソファや談話室のベンチで談笑できるスペースをとって、利用者同士で話しをされている。お互いの居室を行き来される利用者もいらっしゃる。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた馴染みの家具を持ち込んでいただき、小物や家族との写真や、ご本人が作成された作品などを飾ったりすることにより居心地よく過ごせるよう工夫している	居室はそれぞれのフロアのコーナーにあり、リビングにいる人と直接視線が合わないよう配慮されている。広めの居室にはクローゼット、洗面台が配置されている。利用者は使い慣れたタンスやテレビ、いすや机などを持ち込み、写真や花を飾るなど、思い思いに工夫している。居室担当の職員が持ち物などの世話をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下を広くとり、手すりを設置している。自立支援を前提にわかりやすい表示をするなど、混乱を防ぐような環境作りを行っている。		

事業所名	ニチイケアセンター富岡東
ユニット名	なぎさ

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	玄関口やユニット内に基本理念を置き、理念をもとに働き、実現に向けて取り組んでいる。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に入会してから行事などに参加するなど交流が増えてきている。散歩時に、挨拶をしたり声をかけてもらっている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	中学生や高校生の職場体験の受入れを行っている。また地域団体のメンバーとなり、認知症サポーター養成講座を学校・地域向けに実施した。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度開催し、意見や要望を聞き、サービスに反映できるように努めている。包括センター職員や町内会長様、民生委員の方が参加している。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	今年度より介護相談員を導入したので区役所職員との関わりが増えてきた。グループホーム連絡会の南部ブロック役員となっているため、市職員とも関係が築けた。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	マニュアルを閲覧可能な場所に置き、掲示物を貼り出したり研修も行っている。玄関口は防犯上の理由で夜間帯のみ施錠している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	マニュアルや掲示物を置き、ミーティングで研修を行っている。日々疑問に思うことは職員間で話し合いをしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度を利用されている方がいらっしゃる。また、必要に応じて制度を活用できるように説明を行うようにしている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に細かく説明を行い、不安や疑問点が解消できるよう努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	契約時に苦情対応を説明し、重要事項説明書にも当社以外の窓口を記載している。法人の顧客満足度調査により苦情や意見をいただき、家族会で説明・改善できるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングや申し送り時などに意見を聞いたりしている。また連絡ノートを作り、連絡事項や意見などを書いてもらっている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	スキルアップのための制度を設けて、各自が目標を持ち働けるように努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修への参加や外部研修の案内を掲示して、希望者にはシフトを調整し参加出来るよう対応している。今年度は他法人グループホームへの現場研修にも参加した。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	市グループホーム連絡会に加入し、今年度はブロック役員として研修会を立案したり、他法人管理者との意見交換を行っている。区内グループホーム連絡会も今年より発足し、顔の見える関係が築けてきている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前アセスメントにて、ご本人と面談し、話を聴いている。内容をスタッフと共有し信頼関係の構築に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居時に要望等を聴き、些細なことでも相談できるような関係づくりを心がけている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	主治医の選択などを含め、対応可能なサービスが提案できるよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒に行ったり、得意なことを職員が教わったりしながら共に過ごす時間を大切にしている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会など来所された際に家族の話を聴き、意見・要望を取り入れた計画作成を心がけている。来所が困難な家族には電話で話しを聴いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方、ご家族などに訪問してもらい、これまでの関係が途切れることがないよう努めている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	それぞれの関係を把握し、職員が間に入りトラブルが起こらないよう心がけている。利用者同士の交流に消極的な方には職員が声かけしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後も相談やアドバイスができることを説明している。ホームの行事などに退去後も参加してお手伝いいただけのご家族がいらっしゃる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者志向の理念のもとに、コミュニケーションを多くとり、本人の希望や意向が把握できるよう努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式を活用しながら情報収集をし、今までに近い生活が維持できるよう努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	介護記録により24時間の生活リズムを知り、把握するようにしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的なモニタリングとケースカンファレンスを行い、意見を聴き介護計画を作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	気づきや工夫についてはその場で話し合いを行い、情報を共有し見直しを行うようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	法人の多機能性を活かしたトータルケアの対応が可能のため、本人や家族の要望に迅速な対応ができるよう連携を取りながら行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣のウクレレボランティアの方に来所いただいている。「学校と福祉施設の連絡会」に参加し、地域資源の情報共有を行い、保育園や学校との交流を行っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族に主治医を決めてもらっている。往診医以外の通院には受診時に本人の状況を書面にて報告している。		
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携体制加算による週1回の訪問看護師来所時に、日々の様子や疑問点を相談してアドバイスを受けている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には介護サマリーを作成し、病院へ訪問したり、または状況の変化に応じて電話にて情報交換を行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	主治医とご家族との話し合いの場を設け、個々の対応について検討している。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	入職時やミーティング等で研修を行ったり、マニュアルをいつでも閲覧できるようにしている。消防出張所所長様より救命救急講習を受けた。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害マニュアルを作り、いつでも閲覧できるようになっている。消防職員の協力のもと、消防団や近隣住民の方を含めた避難訓練を実施している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーに配慮しながら声かけを工夫したり、見守りをしている		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の思いをゆとりを持って聴き、自己決定を重要視しながら支援を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴時間や食事時間など、入居者のペースを大切にし、職員側の都合が優先されないように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2～3ヶ月に一度は美容師にカットしてもらっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お一人おひとりの得意分野を活かしながら、食事の準備や後片付けを職員と一緒にやっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量を日々把握している。体調が悪い場合は消化のよいものに変えるなど臨機応変に対応している。嚥下困難な方にミキサー食を提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	日々の口腔ケアの他に、訪問歯科による口腔ケアを週1回行い口腔内の清潔保持に努めている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンの把握に努め、適宜トイレ誘導を行い支援を行っている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分量や食事量のチェックや、便秘時のマッサージなどを行って便秘にならないように心がけている。主治医に相談し薬を処方してもらうこともある。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	浴室が広いので、職員見守りのもと入浴を実施している。失禁があった場合などはその都度実施している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の希望に添い、休息時間は自由にとっていただいている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々が服用している処方薬の一覧をファイルし、いつでも確認ができるようにしている。誤薬を防ぐため服薬時には職員2名で確認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	これまでの趣味を楽しんでいたり、得意な役割を行っていただいている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	体調や天候など考慮しながら外出支援をしている。ご家族と散歩に出かけている方もいらっしゃる。ご家族も参加して外食会を近隣商店街で実施した。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金は原則預からせてもらっている。近隣のバザーなどに出かけ、本人が買物したい時には自由に使えるようにしている。業者によるホームでの買い物イベントを実施した。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族と相談して電話をかけたり手紙を書くことは自由に行えるようにしている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	室温が快適になるよう適宜温度調整し配慮している。また居室も定期的に換気を行っている。季節感のある装飾を行っている		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングのソファなどで談笑され、利用者同士で話しをされている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた馴染みの家具を持ち込んでいただき、小物や家族との写真や、ご本人が作成された作品などを飾ったりすることにより居心地よく過せるよう工夫している		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下を広くとり、手すりを設置している。自立支援を前提にわかりやすい表示をするなど、混乱を防ぐような環境作りを行っている。		

目 標 達 成 計 画

事業所名 ニチイケアセンター富岡東

作成日 27年 5月 8日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有が職員全員に対してできていない。	理念の意図しているところを職員全員が共有し、日々のケアに実践できるようにする。	理念についての成り立ちを理解するための研修を行ったり、日常的に反復できる体制を整える。	1年間
2	12	入居者様の看取り体制について、十分な知識と話し合いの同意書等の準備が必要である。	ご家族・主治医・施設間の十分な連携により、その人らしい最期を迎えられる体制を整えることができる。	入居時以外、看取りに移行する際にも同意書を取り交わせるようにする。医療関係者による看取りの研修を職員が受けられるようにする。	1年間
3	26	介護計画書作成時に関わる関係者が少ない。	様々な立場の方々の意見が反映された介護計画書を作成することができる。	ケースカンファレンス以外に、医療関係者やご家族の意見を多く取り入れる。	1年間
4	40	食事時の見守り体制が弱い。	複数の職員が入居者様を見守ることで、安全で楽しい食事の時間を一緒に送ることができる。	休憩時間帯を工夫するなど、1日の業務分担の見直しを行う。	1年間
5	10				

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。